

いつも新しいことを考えている4人が出逢った。
写真作家活動を続けている卒業生たち。山口から、
宮崎から、東京から、そして大阪からと集まった。
この強い意志と努力で、新しい知識人としての写真家
が生まれるのである。可能性は大いにある。

安森 信 × 内倉 真一郎 × ヨシダミナコ × 土佐 和史

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.31

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY

写専卒の新しい仲間たちと出逢って、
これからの写真人生が、
ますます楽しくなりそうな予感です。(土佐)



今後、ますます写専卒の写真作家が増えて、写真の話、家庭の話、夢の話の輪が広がって
いく確信を得た4人の出逢いでした。

京都のギャラリーで、4人の作品が展示され
るイベントがあった。「この度、内倉真一郎く
んにイベントに誘っていただき、写専出身の仲
間に会えたのは最高の刺激になります」と山口
から安森信さん(1999年研究科卒・39)、「いや
あ、本当によく参加してくれました」と笑
顔で歓迎するのは内倉真一郎さん(2003年
研究科卒・35)。「土佐和史さんとは写専を卒業
して入った東京のスタジオで一緒だったんです
よ」「東京生活は楽しかったね。大阪弁と宮崎
弁が飛び交って写真の話をいっぱいしたよね」
と土佐和史さん(2003年卒・39)。「わたし、
写専が財産になっています」と小さな声で言う
ヨシダミナコさん(2002年卒)。「カッコえ
えやん」(笑)と土佐さんがツッコミを入れる
と安森さんが「写専の思い出出て鮮明に蘇って
くるよね。ボクは映像学科から研究科に入って
写真のおもしろさを知ったんだけど、同級生た
ちはみんなチャランポランばかりでよく怒られ
ていました(笑)。ボク、真剣に写真でノーベル
平和賞を狙っています」(爆笑)「やっぱり、出

逢った仲間が最高だったね」と内倉さん。「わ
たしはね、誰かに手紙を書くように風景写真を
撮っています。愛でしか写真は撮れない」と微
笑むヨシダさん。「ボクもいろんな所に行って
ポートレイトを撮らせてもらっているんだけど、
人と人のつながりは愛だね」(一同爆笑)
と土佐さん。
「これから、みんなはどうするの？ボクは昨
年から海外での出品が増えたんだけど」と内倉
さん。安森さんは「今、1977年生まれの同
級生を撮っています。現在、60名以上の方を
撮影して100人に撮影できたら発表しま
す」突然に土佐さんがこの間、オヤジがアポ
ペンのモノマネをしている動画を送ってきた、
最高に笑いました」(笑)「わたし、結婚してか
ら8年間はシャッターを切ることを止めていた
んですけど、内倉くんが撮ろうよと誘ってくれ
たのがキッカで、戻るべき場所に戻れた
なあって、やっぱり、仲間って嬉しいですね」
とヨシダミナコさんの瞳が濡れた。(は)